

No.187

令和2年9月28日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



「やってよかった」「やれてよかった」

コロナニモマケズ
自分ニモマケズ
相手ニモ夏ノ猛暑ニモマケヌ
丈夫ナココロトカラダヲモチ
欲ハナク
決シテ瞋（イカ）ラズ
イツモ笑顔ヲ絶ヤサズガンバッテキル
マスクノ着用ト
手洗イヲ忘レズ
三密ヲ回避シ
ソーシャルディスタンスヲ保持スル
ヨクミキキシワカリ
ソシテワスレズ
試合ニ出テイル時ハモチロン
ベンチヤ応援席ニアル時モ
東ニガンバッテイル友アレバ
オールファイト！トエールヲオクリ
西ニマケソウナ友アレバ
コレカラコレカラと発破ヲカケル
南ニ勝ッタ友アレバ
勝ッテ兜ノ緒ヲ締メヨト氣ヲ引キ締メ
北ニ負ケテシマッタ友アレバ
次コソリベンジト激励スル
サウイフアナタヲ
キタイシテイマス

先週末、今年度初めての部活動の公式戦「令和2年度市内中学校新人体育大会」（新人戦）が開催されました。先の総合体育大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止となったため、中小体連の試合は、実に1年ぶりとなります。前日の強雨によって男女のソフトテニスは順延となりましたが、その他の競技については、ほぼ予定どおり実施することができました。大会の運営と生徒の指導にあたってくださった先生がた、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

実のところ、今回の新人戦についても、実施できる

かどうか微妙な状況でした。実施可否の判断をする時期に愛知県独自の「緊急事態宣言」が発出されていたからです。最終的には「実施」の判断が下されましたが、「保護者の参観はなし」「参加する生徒は必要最小限」など、異例の措置が講じられました。各競技種目の顧問校長も、大会開催中は会場を離れず不測の事態に備えるよう申し合わせました。

今のところけがの報告はあったものの、新型コロナウイルスに関わる情報や、とられた措置に対する否定的なご意見等は耳に入ってきていませんので、大会関係者として「やってよかった。やれてよかった」というのが偽らざる心境です。一部競技を除いて大会は終了しましたが、2週間の経過観察が必要です。これまで以上に生徒の体調把握に努め、異変があったり異変を感じたりするようなことがあれば、すぐさま報告するようお願いいたします。

新人戦の結果については、すでに青陵メールにてお伝えしてあるとおりです。期待以上、期待どおり、それでもなかったなどなど、思いは悲喜こもごもでしょうが、大切なのはこれからの取り組みです。

20代の頃、水泳部の顧問として全中へ多くの選手を送り出すなど、すでに実績を上げていらっしやった偉大な先輩との会話のなかで、こんなことをお話してくださったことを思い出します。

そりゃあ新人戦で結果が出るということは悪いことじゃあないよ。でも、新人戦の結果はどうでもいいんだよ。問題にすべきは総体の結果。新人戦でいくら旗をとってきたとしても、総体で結果が出なければなんにもならないじゃん。新人戦が終わって総体までのおよそ10か月間の中長期ビジョンと実現可能な目標のもたせ方の方よっぽど大切だよ。新人戦の段階では結果は求めなくていい。そこから先の練習の内容と練習に取り組む姿勢がいかに大切かを生徒にわからせることが顧問の仕事なんじゃないのかなあ。